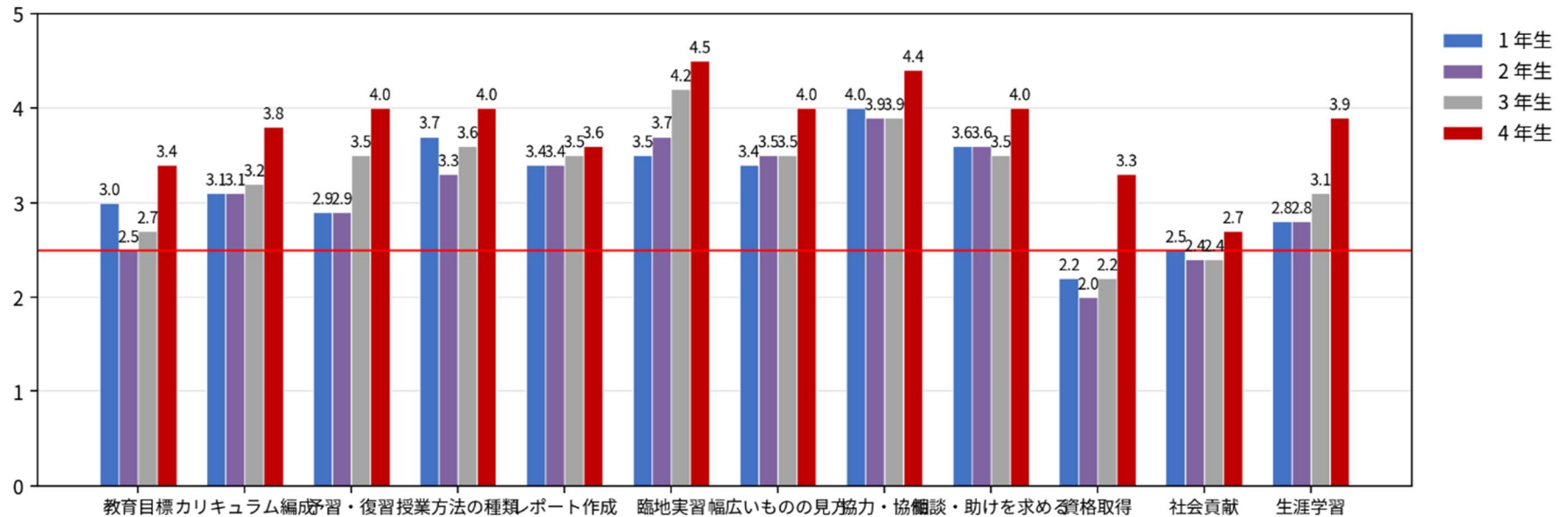


学びの姿勢(教育課程編成・実施の方針)振り返り (保健看護学科)

1. 分析対象数は、1年生が112名(83.6%)、2年生が83名(91.2%)、3年生が39名(44.3%)、4年生が26名(31.0%)であった。
2. 全学年を通して高得点の項目は、協力・協働(グループワークや実習などで他メンバーや教員、指導者と良好な関係を築くことができる)4.0(4.0)、臨地実習(臨地実習は何故行うか知っている)3.8(3.9)、授業方法の種類(科目の授業方法には講義、演習、実習があることを知っている)3.6(3.7)であった(図2)。これらは例年と同様の傾向となっており、本学科の学びの姿勢の特徴と推察される。
3. 低得点の項目は、資格取得2.3(2.6)、社会貢献(ボランティアなどを行っている)2.5(2.5)、であった。前者については、特に1年生から3年生で低くなっており、国家試験対策が本格化する前の学年であることが影響していたと推察される。
4. 全体的に学年が上がる毎に学びの姿勢が向上する傾向にあった。協力・協働、臨地実習は特に高い傾向がみられ、学生は、講義・演習・実習等を通じて協力・協働の重要性について修得したと考えられる。



	教育目標	カリキュラム編成	予習・復習	授業方法の種類	レポート作成	臨地実習	幅広いものの方	協力・協働	相談・助けを求め	資格取得	社会貢献	生涯学習
全学年平均	2.8	3.2	3.1	3.6	3.4	3.8	3.5	4.0	3.6	2.3	2.5	3.0